

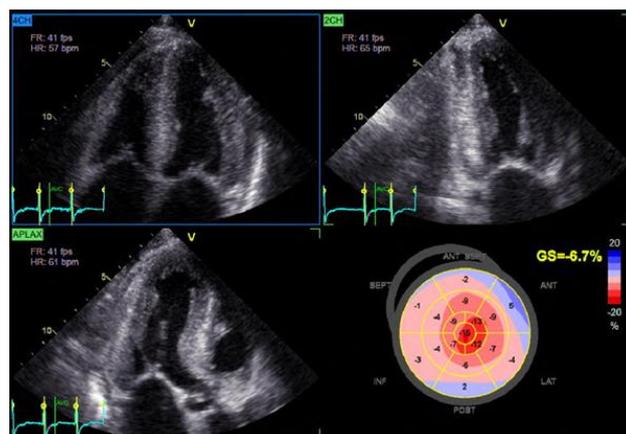
心臓超音波検査は、超音波を使用し心臓の状態を観察できる安全性の高い検査です。2021年7月から、心臓超音波診断装置 Vivid E95（左下 写真）が稼働しています。Vivid E95は、鮮明な画像を描出できることに加え、AI 技術を使用することで、正確な計測と検査時間の短縮を実現しています。

近年、抗がん剤の使用による心毒性（心臓の収縮能力の低下）が注目されています。この収縮能力の低下をより早期に発見する一つの方法として、GLS（Global Longitudinal Strain）があります。GLS は、左室機能のわずかな変化を検出することができ、抗がん剤治療をされている患者さんの定期検査に有用です。Bull's eye 表示（右下 写真）を利用することで、異常部位が解り易くなります。さらに、4D 技術も搭載されており、心臓を立体的に観察することができます。このような測定技術を駆使して、患者さんに有益な情報を診療側へ提供しています。

臨床研究検査科 霜津 宏典



心臓超音波診断装置 Vivid E95



GLS と Bull's eye 表示

抗がん剤投与による
左室の機能低下を
初期から検出可能